

化粧品平均購入金額と 薬事法ドットコム 購入場所を調査

薬事法ドットコムは、2021年5月18～19日にかけて、20～60歳の女性400人(平均36.5歳)を対象に、化粧品の1カ月の平均購入金額と購入場所についてアンケート調査を行った。



化粧品の1カ月の平均購入金額は「4576円」、独身女性の平均購入金額が「4965円」、既婚女性の平均購入金額が「4001円」であった。この1カ月の平均購入金額を12カ月継続した場合に年収の何%になるのかのデータも算出した。独身女性は131人、既婚女性は269人であったが、独身女性の場合は自身の年収、既婚女性の場合は世帯年収をもとに計算した。その結果、独身女性は年収の2.1%、既婚女性は世帯年収の1.7%を美容代に費やしていることがわかった。

化粧品をよく購入していることがわかった。化粧品を複数選択可能な場所を複数選択可能な場所でもらったところ、百貨店は24.3%、ドラッグストアは84.0%、コンビニは1.0%、100円均一は8.5%、スーパーは5.0%、大手通販サイトは34.0%、化粧品専門サイトは5.0%、ブランド公式サイトは28.3%、その他は8.0%となり、ドラッグストアが一番多い結果となった。また、最近では100均コスメが人気だが、8.5%がよく購入していることがわかった。年別の化粧品1カ月の平均購入金額は、20代が「4862円」、30代が「4277円」、40代が「5102円」、50代が「4027円」となり、20代と40代で比較的金額が高い傾向がみられた。

年別の化粧品1カ月の平均購入金額(独身女性自身年収を基準に年収別で分けて算出)は、独身女性では「200万円未満」が41.9%、「200～350万円未満」が51.2%、「350～500万円未満」が54.3%、「500万円以上」が48.3%となった。既婚女性では、「400万円未満」が46.3%、「400～600万円未満」が32.1%、「600～800万円未満」が48.9%、「800万円以上」が56.9%となった。年収が高くなるにつれて、平均購入金額が高まる傾向となった。年別の美容代の1カ月の平均使用金額(同)は、独身女性では「200万円未満」が68.6%、「200～350万円未満」が95.0%、「350～500万円未満」が100%、「500万円以上」が100%となった。こちらも年収が高くなるにつれて、平均購入金額が高まる傾向となった。

ポーラ コロナ前後で肌変化を比較 シミ・くすみ・うるおいが良化し、 ニキビリスクは悪化

ポーラは、コロナ前後での肌変化について、パソナライズドサービスブランド「APEX(アペックス)」の2019年7月～2020年3月(コロナ前)と2020年4月～2020年7月(コロナ後)と、2020年7月～2021年3月(コロナ後)の3期間(コロナ前の翌年同期)の分析データを集計し、比較した。

肌分析では、シミの要因である「メラニン」の減少が認められた。また、「くすみ」の要因である「乾燥」の改善も確認された。一方で、ニキビリスクは悪化しているという結果となった。

同社では、「メラニン」が改善されたことにより、「くすみ」は紫外線にさらされる機会が減少したことで、「うるおい」は睡眠時間の確保や睡眠の質が改善されたことによる。また、「ニキビリスク」は長時間のマスク着用による悪化しているものと分析している。

ポーラは、コロナ前後での肌変化について、パソナライズドサービスブランド「APEX(アペックス)」の2019年7月～2020年3月(コロナ前)と2020年4月～2020年7月(コロナ後)と、2020年7月～2021年3月(コロナ後)の3期間(コロナ前の翌年同期)の分析データを集計し、比較した。

肌分析では、シミの要因である「メラニン」の減少が認められた。また、「くすみ」の要因である「乾燥」の改善も確認された。一方で、ニキビリスクは悪化しているという結果となった。

ポーラは、コロナ前後での肌変化について、パソナライズドサービスブランド「APEX(アペックス)」の2019年7月～2020年3月(コロナ前)と2020年4月～2020年7月(コロナ後)と、2020年7月～2021年3月(コロナ後)の3期間(コロナ前の翌年同期)の分析データを集計し、比較した。

肌分析では、シミの要因である「メラニン」の減少が認められた。また、「くすみ」の要因である「乾燥」の改善も確認された。一方で、ニキビリスクは悪化しているという結果となった。

ポーラは、コロナ前後での肌変化について、パソナライズドサービスブランド「APEX(アペックス)」の2019年7月～2020年3月(コロナ前)と2020年4月～2020年7月(コロナ後)と、2020年7月～2021年3月(コロナ後)の3期間(コロナ前の翌年同期)の分析データを集計し、比較した。

肌分析では、シミの要因である「メラニン」の減少が認められた。また、「くすみ」の要因である「乾燥」の改善も確認された。一方で、ニキビリスクは悪化しているという結果となった。

世界最大級のデザイン賞 「iF DESIGN AWARD 2021」を受賞

ポーラは、世界最大級のデザイン賞「iF DESIGN AWARD 2021」を受賞した。これは、製品のデザインと機能性を評価する国際的な賞である。



ポーラは、世界最大級のデザイン賞「iF DESIGN AWARD 2021」を受賞した。これは、製品のデザインと機能性を評価する国際的な賞である。

資生堂、組織の一部改正と人事異動(2021年7月1日付)

組織の一部改正
①福岡久留米工場の新設/福岡久留米工場設立準備機能やサプライネットワーク領域の人材育成等の基盤整備機能を担当する。

②サステナブル開発推進室の新設/同社のサステナブル戦略において特に重要である環境対応パッケージ開発機能を統括し、技術開発・戦略実行のハブとして、商品開発部門と連携してスピーディーな製品化に結びつける目的で、ブランド価値開発研究所内に「サステナブル開発推進室」を新設する。

③その他/グローバルICT部を「グローバルICT戦略部」へ改称し、資生堂グループ全体のIT領域での戦略的取り組み・ITガバナンスをリードする機能に特化する。「グローバルICT部」の受賞に至った。

ライオン、人事異動(6月1日付・7月1日付)

6月1日付/ビジネス開発センター副本部長 島田伊三男

7月1日付/購買本部 管理部長(人材開発センター付) 松居克